

かけぬけろ！ 最後まで！ -運動会特集-



すっきりとした秋晴れというわけにはいきませんでした。かえって涼しく感じられる中で、第3回秋季大運動会が実施されました。昨年は台風に泣かされましたが、今年は無事行うことができ、ほっとしています。

「かけぬけろ！！勝利にむかって 最後まで」をスローガンに、最後まで一生懸命取り組む姿に子どもたちの成長を感じました。初めての運動会にドキドキしながらがんばった1年生。お兄さんお姉さんの立場で、かごいっぱいになあれ！（玉入れ）をリードした2年生。低学年のリーダーとして、表現種目「TOKYO2020に向かって」を成功させた3年生。初めてのソーラン節、初めての係活動に全力で最後まで取り組んだ4年生。係活動や色別活動など6年生を補佐しながら、次のリーダーとしての心構えを育んだ5年生。そして、全校のリーダーとして、色別活動や係活動、全体運営など、全てに気を配り素晴らしい運動会にした6年生。閉会式のときには、子どもたちの姿に晴れ晴れとした自信のようなものを感じ、胸が熱くなりました。

9月12日から運動会の練習が始まりました。保護者の皆様には、体育着の洗濯を始め、健康管理にも気を配っていただき、ありがとうございました。おかげさまで素晴らしい運動会にすることができました。



来年からプログラミング教育が始まります。



来年度から、すべての小学校においてプログラミング教育が始まります。なぜ、プログラミング教育が導入されることになったのでしょうか。その理由は、将来90%以上の職業において少なくとも基礎的なITスキルが必要とされると言われていること、さらに多くの国では、すでに学校教育のカリキュラムの一環として取り入れられていることなどが挙げられます。これからの社会を生きていく子どもたちにとって、ITスキルは必須の能力だと思います。



小学校におけるプログラミング教育のねらいは、「①プログラミング的思考力を育むこと ②コンピュータの働きを、よりよい人生や社会づくりに生かそうとする態度 ③身近な生活でコンピュータが活用されていることや問題の解決には必要な手順があることに気づくこと」です。これらのねらいを達成するために、教科等の学習にプログラミング教育を取り入れながら進めていきます。ただし、今のところ来年度は、学習指導要領等に示されたもの（算数・理科等）に取り組んでいくことになると思います。



身延町では、タブレット端末の整備等、情報教育については、大変手厚くしていただいています。それらを活用し、来年度に向け、準備を整えているところです。

【IT=情報技術のこと。コンピューター・インターネット・携帯電話などを使う情報処理や通信に関する技術を総合的に指している言葉。国際的には、ほぼ同じ意味でICT【情報通信技術】が広く使われている。】



身延町合併15周年記念式典

9月14日（土）午前10時から身延町総合文化会館において「身延町合併15周年記念式典」が行われました。平成16年（2004年）9月に下部町・中富町・身延町が合併して、新身延町が誕生して15年がたちました。式典では、町長の挨拶や感謝状の贈呈、絵画・作文コンクールの表彰、町の歌の披露が行われました。

その中で、下山小でも5名の児童が表彰を受けましたので、紹介します。絵画部門 町長賞：1年米澤真斗さん、3年望月彩香さん 教育長賞：2年戸栗華廉さん 作文部門 町長賞：4年松木美樹さん 議長賞：6年服部準平さんです。おめでとうございます。



学校の周辺もすっかり秋に

10月になっても、暑い日が続いていますが、学校の周辺では、秋が感じられるようになりました。用水路の水も止まり、稲刈りが最盛期を迎えています。田んぼの畦には、彼岸花が咲き誇り、ごんぎつねの物語を思い出させる光景です。充実した秋にしていきたいものです。



[編集後記]

学校における最大の行事「運動会」を無事終えることができました。今年で3回目を迎えましたが、昨年がかなりイレギュラーなものだったので、実質は2回目ということになるのでしょうか。気候の変化や子どもの体力、授業時数などを考慮して、今年度改善に取り組みましたが、いかがだったでしょうか。ぜひご意見をお聞かせ下さい。

(文責 校長 渡辺 勝)